

2001年10月26日

上智大学アンコール遺跡国際調査団の活動概要(2001年～2002年)

上智大学アンコール遺跡国際調査団長：石澤良昭（上智大学教授）

上智大学アンコール遺跡国際調査団は1980年以来カンボジア王国政府（APSARA）と協力しながら「カンボジア人による、カンボジア人のための、カンボジアの遺跡保存修復」を哲学に掲げ、アンコール遺跡の調査・研究・修復保存活動を続けています。2001年度は3回にわたる調査団を現地に派遣いたしました。特に2001年度の第32次調査ではバンテアイ・クデイ遺跡において103体の廃仏が発掘され、第33次調査では171体の廃仏と千体仏石柱が発見されました。これまでアンコール遺跡研究約100年の歴史の中で初めての世界的大発見であり快挙でありました。

1．調査団の派遣

- ・第32次調査団（2001年02月03日～04月15日。72日間）
- ・第33次調査団（2001年08月01日～09月15日。46日間）
- ・第34次調査団（2001年11月10日～2002年01月10日。62日間 予定）
- ・第35次調査団（2002年02月10日～04月09日。49日間 予定）
- ・第36次調査団（2002年06月10日～09月04日。88日間 予定）
- ・第37次調査団（2002年10月20日～2003年01月10日 83日間 予定）

2．調査研究にご協力いただいている関係機関

カンボジア王国政府文化芸術省、王立芸術大学、プノンペン大学、アプサラ（アンコール地方遺跡整備機構）、シェムリアップ州、フランス極東学院（パリ）、ユネスコ（カンボジア）、ワールド・モノユメント・ファンド（ニューヨーク市）、奈良国立文化財研究所、日本大学、東北工業大学、帝塚山学院大学、金沢大学、奈良女子大学、京都府立大学、早稲田大学政経学部、酒井幸法律事務所、大阪市文化財協会、有田町歴史民俗資料館、東北大学、小杉石材店

3．現地における調査団の主な活動

- (1)建築班：アンコール・ワット西参道修復工事、バンテアイ・クデイ遺跡のレベル定点測定の継続（アプサラと共同事業）、遠隔地5大遺跡建築学予備調査、ベンメリア遺跡の予備調査、サンポール・プレイ・クック遺跡群の予備調査など
- (2)地質班：バンテアイ・クデイ遺跡の地下地盤の砂岩調査、共振法による石材診断、アンコール・ワット西参道地質調査、ヘリコプターによるカンボジア地形調査、遠隔地5大遺跡地質調査、シェムリアップ川の流域扇状地の地質調査、トンレサップ湖の形成調査

- (3)考古班：バンテアイ・クデイ遺跡 103 体廃仏発掘およびインベントリー作成、DO8 遺跡実測図研究、引き続き 171 体の廃仏と千体仏石柱を発掘、東参道脇小祠発掘調査、遠隔地 5 大遺跡考古学予備調査、サンポール・プレイ・クック遺跡群の調査研究など
- (4)窯跡班：B1 窯の発掘調査・研究、B4 窯トレンチ調査、出土品の整理・目録作成・公式報告書作成・窯跡保存公開事業（アプサラ・奈良国立文化財研究所と共同事業）、プノン・クレーン丘陵の窯跡地調査、窯跡発掘のための中堅幹部人材養成プロジェクト
- (5)水利環境班：歴史水利都市調査研究、シムリアップ川水質検査、トンレサップ湖水質検査、プオック川・ロリュオス川流域調査、トンレサップ湖浮稲調査など
- (6)村落・社会班：5 プームにおける農村調査、老人の社会活動参画プロジェクト、文化遺産教育、国立公文書館の教育関係資料調査、カンボジア社会復興調査・フランス植民地下のカンボジア社会研究、アンコール遺跡保存政策研究など
- (7)民話・伝統文化班：村落の口承伝承調査研究、寺院壁画調査研究、民話絵本（2000 年 11 月出版）および民話を小学生の補助教材読本に作成するプロジェクトなど
- (8)遠隔地文化遺産調査班：コーケー、コンボンスヴァイ・プリヤカーン、サンポール・プレイ・クック、ベンメリア、バンテアイ・チュマール、プリヤ・ビヘアなど
- (9)小学校リュック・ミッション班（ボランティア団体と共催）：シムリアップ州小学校へ手作りリュック・サック寄贈プロジェクト（鉛筆、ノート、消しゴム、サンダル、定規など封入）

4．人材養成プロジェクト（人的資源開発、地域住民啓発プロジェクト）

(1)学位取得のための大学院教育プログラム：

Ly Vanna：男、王立芸術大学考古学部 1995 年卒業、現在上智大学大学院地域研究専攻博士後期課程

Hor Sukuntheary：女、王立芸術大学考古学部 1996 年卒業、現在上智大学大学院地域研究専攻博士後期課程

(2)2000 年度神奈川県海外技術研修事業

Chhean Ratha：男、王立芸術大学建築学部 1996 年卒業、コンピューターによる製図研修

期間：2000 年 5 月～2001 年 3 月、場所：神奈川県国際研修センター

Som Visoth：男、王立芸術大学考古学部 1997 年卒、遺跡博物館研修

期間：2001 年 5 月～2002 年 3 月、場所：神奈川県国際研修センター

(3)アンコール遺跡における専門研修プログラム（1998 年～現在）

建築学研修生 4 名（Chahan Ratha 男、Mao Sokny 男、Tat San Huot 男、Hengu Kunthea 男）

石工研修生（男）22 名（Phou Soches、Sok Vannisay、Am Soparaveth、Phou Soches、Pourn Ruos、So Sem、Uch Chheth、Vana Narat、Hau Tuy、Suong Touch、Proeng Ruos、Chin Choch、Sam Socy、Cham Beous、Keim Beous、Mern Nivate、Cham Prame、Oung Sawan、Ly Sarine、Ram Kong、Hot Huov）

考古学研修生 6 名（Keo Kinal 男、Loeung Ravatthey 女、Som Visoth 男、Lam Sopheak 男、Nuon Mony 男、Tin Tina 男）。研修場所：上智大学アンコール研修所（シムリアップ市）

(4)アジア・ユース・フエローシップ（AYF）プログラム（日本国外務省）

Ek Bunta：男、上智大学大学院地域研究専攻博士前期課程卒業、現職 王立芸術大学講師

(5)文部省国費外国人留学生（学位取得）

Keo Kinal：男、東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻研究生

Nhim Sutheavin：男、王立芸術大学考古学部 1996 年卒業、現在上智大学大学院地域研究専攻博士前期課程

Tin Tina：男、王立芸術大学考古学部 1997 年卒業、現在上智大学大学院地域研究専攻研究生

(6)外務省長期青年招聘プログラム

Nuon Mony：男、考古学研修生。期間：2001 年 7 月～2002 年 3 月、場所：徳島県

(7)村人・小学生を対象としたバンテアイ・クデイ遺跡についての発掘現場説明会の開催

(1999 年 3 月、12 月、2000 年 3 月、8 月、2001 年 8 月の 5 回)

(8)アンコール・ワット清掃ボランティア（クリーニング・オペレーション。日本・カンボジア両国の学生研修事業）の実施。第 1 回 1999 年 8 月 22 日～30 日（35 名参加）、第 2 回 2000 年 8 月 25 日～31 日（28 名参加）、第 3 回 2001 年 8 月 25 日～31 日（35 名参加）。

5．日本におけるシンポジウム・報告会等の開催

(1)第 1 回「アンコール・ワット国際シンポジウム」共催行事（2000 年 2 月 19 日）

(2)第 7 回「アンコール遺跡を科学する」（活動報告シンポジウム）主催行事（2000 年 2 月 26 日）

(4)国際シンポジウム「アジアにおける歴史水利都市と文化遺産—巨大遺跡を農業と「水」のかわりから検証する—」主催行事（2000 年 9 月 19、20 日）

(5)国際シンポジウム「アジアの文化遺産と 21 世紀—遺跡保存現場から文化遺産学に向けて—」主催行事（2000 年 9 月 21、22 日）

(6)第 8 回「アンコール遺跡を科学する」（活動報告シンポジウム）主催行事（2001 年 4 月 21 日）

6．出版物・報告書の刊行

(1) 石澤良昭・坪井善明・遠藤宣雄共編『カンボジアの文化復興』第 1 号～17 号（1984～2000）
上智大学アジア文化研究所、2000 年 12 月

(2) 『アンコール遺跡を科学する』 No.1～7（1994-2000）

(3) 盛合禧夫編『アンコール遺跡の地質学』（「アンコール・ワットの解明」第 2 巻）
連合出版 2000 年 4 月

(4) 中尾芳治『アンコール遺跡の考古学』（「アンコール・ワットの解明」第 1 巻）
連合出版 2000 年 4 月

(5) 坪井善明編『アンコール遺跡と社会文化発展—遺跡・住民・環境—』
（「アンコール・ワットの解明」第 4 巻）連合出版 2000 年 12 月

(6) 片桐正夫編「アンコール遺跡の建築学」（「アンコール・ワットの解明」第 3 巻）
連合出版 2000 年 12 月

(7) 石澤良昭共著『アンコールの王道を行く』淡交社 1999 年 1 月

(8) ISHIZAWA, Y: A / bngtheRtlyzYIHDa(Zs toAl2gknz; Weatherhnl, NewYork,1999

(9) 石澤良昭・荒樋久雄・丸井雅子共著『アンコール・ワットへの道』JTB 出版部 2000 年 2 月

(10) レイ・タン・コイ『東南アジア史』（新增補版）（石澤良昭訳）白水社 2000 年 4 月

- (11) 公式報告書の作成 『バンテアイ・クデイ遺跡 報告書』（仮題）2001年12月 予定
- (12) 公式報告書の作成 『タニ村窯跡調査報告書』（仮題）2002年 予定

以上